

# 第3学年便り(5/1臨時号)

立川市立立川第二中学校  
校長 飯田 芳男  
学年主任 糸屋 将昭

## 生徒のみなさんへ連絡です。

元気に過ごしていますか？再び臨時休校が延びてしまい、不安な気持ちになってしまっているかもしれません。ずっと家にいて、やりたいことを我慢しなければいけない日々は、気が滅入ってしまうことと思います。先生たちも、その気持ちはとてもよく分かります。

このような時にどう過ごすのかがその人の底力、人間性が表れてくるものだと思います。少しでも楽しむ工夫をしたり、自分の成長のために時間を使ったりと、今おかれている状況をプラスに受け止めて、日々を過ごすことができればいいですね。

また、臨時休校が解除されると、学習がどんどん進んでいきます。1, 2年生の復習の時間を十分にとることは難しくなってしまうと思います。そのため、この1ヶ月の学習がとても大切になります。自分のために、ぜひ学習を進めていきましょう。

## ◎第3学年のガイダンス日について。

5月31日まで臨時休校ですが、皆さんの心身の健康確認、および課題配布や提出などの学習支援を行う『ガイダンス日』を2日間、設定します。

5月12日(火) と 5月26日(火)	時間は、	9:00～	2組、4組
		10:00～	3組、5組
		11:00～	6組

※ クラスごとに時間帯が決まっているので上記時間に登校すること。

※ 服装は、**標準服**で登校すること。

※ 当日、生徒が登校できないときは、保護者の方が来校することや電話連絡のうえ、別の日に個別に対応することも可能です。

**5月12日(火)は、**

- ①今まで実施した課題等の提出 (次のページ参照)
- ②5月中の課題配布
- ③副教材の配布

を予定しています。

## ◎第3学年の学習相談日について。

5月19日(火)の9時～10時半は、学習等についての相談にきてもよい日にします。

**※相談日は全員が必ず来る日というわけではありません。**

相談したい人は事前に電話連絡を行い、登校してください。また、集団で来てはいけません。できる限り不要不急の外出は避けて、自宅で学習しましょう。さらに、電話での対応もします。相談がある場合には上記の時間に電話をかけてもかまいません。

## ◎今後の情報は本校ホームページで伝えます。

今後の予定等については、国の緊急事態宣言の動向や都知事の要請内容を踏まえて、順次、本校ホームページに掲載します。週末や学校再開の前日等は、特にホームページの確認をしてください。

## ◎提出物について

### ・家庭連絡票

### ・健康観察カード

その他、前回(4月6日)の登校で提出ができなかったもの。  
※各教科での提出物、ぞうきん2枚(4月6日に未提出の者)

### ・各教科の課題 (5月12日に提出するもの)

教科	課題	提出方法
国語	教科書の要約 (1つ以上、できたところまでを提出)	原稿用紙などを用いて、字数が分かるようにする。 ファイリングして提出。 1番上の原稿用紙に、学年・クラス・番号・名前を書くこと。
数学	次の①または② ①リポート学習2のA面またはB面 ②市販の数学問題集(塾のテキストなど)	提出日変更 <b>5月26日(火)の提出</b> とします。
英語	①教科書のそれぞれの Lesson ごとの本文をノートに写す。 ②各 Lesson の New Words をノートに写し、それぞれの日本語の意味を調べて書く。	ノートを提出。
理科	①単元4「電気の世界」の学習内容を自分なりにまとめる。 ②実力テスト学習。	ノートを提出。
社会	1,2年で学習した地理と歴史の復習	今回の提出物はありません。
家庭科	私のレシピ作成。	レシピノート(大学ノートに作成)を提出。

詳しくは、4月21日に立川二中のホームページに掲載された、「第三学年便り(4/21 臨時号)」を見て確認してください。

# 【理科】 課題について

5月からはおもに①を行きましょう。

## ノート

1日1ページ以上 (①理科の課題や②実力テストの学習など)

…毎日の学習を始める前に、日付をノートに必ず記入すること。

### ① 2年の教科書 P212~273

単元4「電気の世界」の学習内容を、ノートを用いて自分なりにまとめる。  
授業で行っていないところも、自分なりに進めていくこと。(予習)

《 NHK for school → 高校講座 → 物理基礎 → 31回~38回 を見ると参考になります。》  
※見た内容をノートに記入して、わかったことや感想等をまとめることでも自分なりに進めたことにします。

②1年、2年で学習した部分を、休み明けテストの範囲にします。  
いままでに配られているプリントや学習整理、定期テストをもう一度解きなおすこと。  
各分野、まんべんなく出題予定です。この機会に苦手な部分を再度勉強しましょう。  
例:学習整理①②の各分野の単元末にある、記述問題やワークCまとめ問題を解きなおしましょう。

## 課題提出について

次回、ガイダンス日(5月12日)にノートを回収します。12日までに、『電気の世界』のP273までを、**一通り自分のペースで進め終わっていること**。自分のペースで構いませんが、一度は目を通す、まとめをしていること。

授業で行っていないところを進みなさいというのは、本当に心苦しいところです。しかしながら、学校が再開したときに、スムーズに学習が行えるように準備をすすめておいてください。

# 【国語の課題について】

国語の教科書に載っている説明文（論説文）を400字に要約してみようという課題を以前出したと思います。再度、ポイントと手順の確認です。

- ①まず文章をじっくりと読むこと。
- ②「これがないと伝わらない！」というキーワードや「まとめや結論、主張になっているだろう」という部分を抜き出す。
- ③キーワードを盛り込みながら、文章を通して“筆者が伝えたいこと”が何かを意識し、そこからずれないように文章にしていく。
  - ・《短い表現に言い換える》《代名詞をうまく使う》《比喻、具体例をなるべく削る》がコツ。
  - ・文のつながりを意識して、必要な接続詞を入れる。
- ④書いたら読み返して、意味がおかしい文、要点が伝わらない部分などを赤で直す。

★④の見直しの際に参考になればと思い、別紙でホームページに要約の参考例をあげました。（1～5ページ目が2年生の教科書の文章の要約文、6～10ページ目が3年生の教科書の文章の要約文です。）

一言一句まねする必要は全くありません。あくまで参考です。“内容としてズレや不足がないか”という視点で自分の書いた物と比べてみてください。

★教科書を読まずに、要約文だけ丸写ししても意味がありません。10枚を丸写しするよりも、1つの文章をしっかり手順を踏んで要約した方が力になります。一度読んで意味がぼんやりとしか分からなければ、自分の言葉で「～～ということを行っている文章だ」と説明できるようになるまで、何度か読みましょう。何度読み返しても、どれだけ時間がかかっても、構いません。

さらっと表面だけ読んで、なんとなく何回も出てくる単語をつなげて文章にしてみても、要約にはなりません。文章内容を深く理解したうえで、その内容を短い表現で伝えようと工夫して文章にするのが要約です。時間がかかるとは思いますが、頑張ってみましょう！